

社会基盤整備・防災対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>令和2年10月7日</p> <p>開 会 午前10時00分</p> <p>閉 会 午前10時45分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>企画経済委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委員</p>	<p>委員長 猫 田 孝 副委員長 野 島 征 夫</p> <p>委員 藤 墳 守 川 上 哲 也 高 木 貴 行</p> <p>長 屋 光 征 若 井 敦 子 森 治 久</p> <p>藤 本 恵 司 所 竜 也</p>
	<p>執行部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>係 長 市 川 圭 司</p> <p>主 事 松 本 健 汰</p>	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
<p>1. 社会基盤整備・防災対策に関する調査について</p> <p>(1) 無電柱化の推進について</p> <p>(2) 県内各地域の防災拠点機能の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合庁舎の拠点機能について ・ 広域防災拠点の体制強化について <p>2. その他</p>	

6 議事録（要点筆記）

○猫田孝委員長

ただいまから、社会基盤整備・防災対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、重点調査項目に基づき、「無電柱化の推進について」及び「県内各地域の防災拠点機能の強化について」協議いただくため開催したものである。

それでは、最初に、「無電柱化の推進について」執行部の説明を求める。

説明員の出席については、本日の議題を担当する部局を中心に出席いただいているので、あらかじめ、了承願う。

質疑は、説明終了後をお願いします。

（執行部挨拶 横山総務部長）

（執行部説明 青木道路維持課長）

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。質疑は一問一答をお願いします。

○川上哲也委員

資料2 ページの電線共同溝（イメージ）の図のトランスなどの地上機器の大きさはどの程度か。

○青木道路維持課長

地上機器の大きさは、標準的なもので幅1,350mm、奥行き450mm、高さ1,100mmである。

○川上哲也委員

そのサイズは単独地中化方式ではないか。電線共同溝の場合はどうなのか。

○青木道路維持課長

単独地中化方式、電線共同溝方式のいずれの場合も同様のサイズである。

○川上哲也委員

歩道がない道路に設置する場合、どこに設置するのか。

○青木道路維持課長

歩道がない場合には、道路外など交通に支障がない安全な場所に設置している。

○川上哲也委員

交通に障害がない場所だけではなく、例えば家屋の玄関や店舗の前なども支障になると考えるが、これらの場所に設置する場合はどのように配慮しているのか。

○青木道路維持課長

地上機器の設置場所については、地元関係者との調整が難しいのが現状である。地元へ説明し、了解が得られる場所を選定している。

○川上哲也委員

歩道がない場合の設置場所に基準はあるのか。

○青木道路維持課長

基準はなく、地元の了解を得て設置している。

○川上哲也委員

要望であるが、今後、地元と円滑な協議を進めるために、玄関の端からの距離などの基準を検討してもらいたい。

○長屋光征委員

景観などを考えると無電柱化には賛成である。地震などによる停電時において、電柱の場合であれば電線の切れている場所を探すことは容易であるが、地中化されている場合は、道路を掘削して直すのか。

○青木道路維持課長

地中化されている場合には、人が作業を行うことができるマンホールのような特殊部があるため、道路を掘削する必要はない。

○長屋光征委員

特殊部という地下へ人が入れる空間があるという認識でよいか。

○青木道路維持課長

そのとおり。

○藤墳守委員

高山は無電柱化が必要であるが、道路と民家が近接しており、地上機器を設置するような場所がないから難しい。

○猫田孝委員長

昔、大垣駅前の通りで、中部電力に無償で1 km程度無電柱化をしてもらったことがあるが、無電柱化事業の単価はどの程度か。

○青木道路維持課長

現場の状況によって異なるが、標準的な単価については電線共同溝本体の費用が1 mあたり約35万円、電気設備関係の費用が1 mあたり約18万円となっており、合計で1 mあたり約53万円の費用を要する。

○猫田孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって質疑を終わる。

次に、「県内各地域の防災拠点機能の強化について」協議する。

執行部の説明を求める。

説明員の出席については、本日の議題を担当する部局を中心に出席いただいているので、あらかじめ、了承願う。

質疑は、説明終了後にお願いします。

(執行部説明 加藤管財課長)

(執行部説明 宮前防災課長)

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。質疑は一問一答でお願いします。

○川上哲也委員

アフターコロナの関係で、避難所では、一人あたりの広いスペースが必要になり仕切りなどが必要になってくるが、こうした資材を各市町村が全て整備しているわけではないと思う。広域防災拠点で市町村資材を預かっておくことや、県の資材を提供することができないか。

○宮前防災課長

民間事業者等と災害時の資材供給協定を結んでおり、在庫を持たず、必要があった際に民間企業等から運ぶ体制をとっている。また、コロナ禍において一部の広域防災拠点は避難所として活用する可能性もある。市町村と一緒に検討していきたいと考えている。

○川上哲也委員

県と市町村が地域一体で協力して被災者を支援する体制の構築を進めてほしい。

○宮前防災課長

検討する。

○高木貴行委員

各総合庁舎の耐震補強工事を実施したことによって耐用年数はどれくらい延びたのか。

○本多管財課県有施設管理室長

県有建物長寿命化計画では、鉄筋コンクリート造の建築物について65年という耐用年数を設定しているが、耐震補強工事は、耐震に係る耐力を高めるために実施するものであり、耐用年数を延ばすものではない。

○高木貴行委員

各総合庁舎の停電対策工事費はどれくらいの費用がかかるのか。

○加藤管財課長

設計費等含め停電対策工事費は1つの総合庁舎で約2億円かかる。

○高木貴行委員

各総合庁舎はかなり老朽化が進んでいるが、従来の総合庁舎を維持管理していくのか、そもそも総合庁舎のあり方について議論する余地もあると思う。約2億円もかけて停電対策工事を行っていくべきなのか。

○本多管財課県有施設管理室長

各総合庁舎は築年数が約40年経過しており、非常用発電機の耐用年数が一般的に約30年程度のため、非常用発電機の更新に併せて停電対策を実施するもの。

○高木貴行委員

西濃総合庁舎では、昨年、発電機の更新と併せて停電対策が行われたと聞かすが、今から30年間、新しい発電機を使うのかという思いもあり、そこまで費用をかける必要があるのかという思いがある。

もたれ総合庁舎や飛騨総合庁舎の発電機稼働時間が短い、大丈夫か。

○加藤管財課長

災害時における燃料の供給については、岐阜県石油商業組合との協定に基づいて、必要な石油燃料を優先的に供給いただくことで対応する。

○長屋光征委員

著作権がネックとなり既存の構造物が壊せず、とある工業団地では工場用地を広げることができなくなっているという質疑が企画経済委員会の中であった。県有施設の中に、土地建物は県の所有で、建築会社や設計士等が著作権を有する県有施設はいくつ存在するのか。

○加藤管財課長

調べて報告させていただく。

○藤壇守委員

県が出している1,000年に一度の降雨を想定した浸水想定区域図によると西濃地域や岐阜市などはほぼ全域が浸水することとされており、その地域に住んでいては危ないと思われてしまい、人口減少に拍車がかかるのではと心配している。どのように考えているか。

○宮前防災課長

防災の視点では、万が一に備え、広域避難できる対策を市町村と検討している。

○青木道路維持課長

浸水想定区域図については、河川課から改めてご説明させていただく。

○川上哲也委員

広域防災拠点に指定されている飛騨エアパークは非常に広く、広域防災拠点として様々な活用方法があると思うので、検討していただきたい。

○宮前防災課長

検討する。

○猫田孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって本日の委員会を終了する。

社会基盤整備・防災対策特別委員会 配席図

令和2年10月7日(水)午前10時～
企画経済委員会室

出入口

--	--	--	--	--	--	--	--	--

						小野 都市整備 課長		
--	--	--	--	--	--	------------------	--	--

	本多 管財課 管理施設 室長			宮前 防災課長			尾澤 道路維持課 管理企画 監	
--	-------------------------	--	--	------------	--	--	--------------------------	--

加藤 管財課長			渡辺 危機管理 政策課長			青木 道路維持 課長		
------------	--	--	--------------------	--	--	------------------	--	--

	板津 財政課長			横山 総務部長			富田 総務部 次長	
--	------------	--	--	------------	--	--	-----------------	--

出入口

傍聴席

議 会
事務局

出入口

所 委 員
森 委 員 (治)
長 委 員 屋
川 委 員 上

藤 委 員 本
若 委 員 井
高 委 員 木
藤 委 員 墳

野 島
副委員長

猫 田
委員長